



年 組 名前

道新でワークシート

文化財を火災から守れ

「防火デー」前に時計台で訓練

消防庁などが定める「文化財防火デー」（26日）を前に、国の重要文化財の札幌市時計台で22日、消防訓練が行われた。時計台内の電気設備から出火したと想定し、時計台職員や中央消防署員が、消火器や放水銃を使い消火訓練に臨んだ。訓練には職員ら計8人が

参加した。職員は「火事で」と、来場者に呼びかけて避難誘導したほか、消火器などで消火する手順を確認した。その後、敷地内に設置されている放水銃で放水した。時計台の下村康成館長は「来館者と建物のどちらも

守れるよう、しっかり取り組みたい」と話した。1949年（昭和24年）1月26日に奈良県の法隆寺の壁画が火災で焼損したことを受け、国は毎年この日を文化財防火デーとしており、時計台でも毎年、消防訓練が行われている。（樋口雄大）



消火訓練で時計台に向けて放水する職員たち

2020年1月23日（木）朝刊 14面（記事は再編集しています）

- ①記事の写真に写っている、国の重要文化財（じゅうようぶんかざい）は何ですか。
- ②消防庁（しょうぼうちょう）が、1月26日を「文化財防火（ぶんかざいぼうか）デー」として定めたのはなぜですか。
- ③札幌（さっぽろ）市時計台で消防訓練（しょうぼうくんれん）が行われているのはなぜですか。